

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月11日

上場会社名 ユナイテッド&コレクティブ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3557 URL <http://www.united-collective.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 坂井 英也
問合せ先責任者（役職名） 管理本部長（氏名） 畑中 俊哉（TEL）050-3091-3557
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,239	2.3	37	△12.7	24	△40.4	21	—
2024年2月期中間期	3,165	125.8	43	—	41	—	△3	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期中間期	2.56		2.53					
2024年2月期中間期	△3.99		—					

（注）2024年2月期中間会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,872	—	51	—	0.5	—
2024年2月期	3,929	—	△261	—	△7.3	—

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 21百万円 2024年2月期 △289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2025年2月期の配当予想は未定といたします。

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,303	2.1	144	172.4	123	216.5	75	—	13.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2025年2月期（予想）の1株当たり当期純利益は、第9回新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数より算出しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年2月期中間期	4,226,300株	2024年2月期	3,954,300株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年2月期中間期	180株	2024年2月期	180株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年2月期中間期	4,083,334株	2024年2月期中間期	3,520,300株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢、円安進行、物価高騰といった要因が長期化し、わが国の経済活動に大きな影響を与えており、依然として先行き不透明な状況が続いています。外食産業では、原材料や食材、エネルギーの仕入れ価格の上昇、生産年齢人口の減少、スポットワーカーの増加などが続き、店舗運営コスト（原材料費、人件費、水道光熱費など）が増加していることに加え、猛暑や台風など来店客数に大きな影響をもたらす異常気象がみられたことにより、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような状況の中、当社では、当事業年度において通期での黒字達成と債務超過の解消を目指し、緩やかな新規出店とトップラインの回復を図りながら、COVID-19以前よりも筋肉質な経営を目指すため、徹底したコスト管理に取り組んでいます。当中間会計期間においては、新業態「もつ焼き酒場てけてけ」及び「海鮮丼新太郎」の店舗展開に向けてのブラッシュアップを行いつつ、既存業態においては「茶割りドリンクの8種導入」や「プルドポークバーガー」といった新商品開発を推し進めることにより、トップラインの回復に向けた取り組みを進めてきました。新規出店及び閉店はなく、当中間会計期間末日における店舗数は80店舗（前年同期と同数）となりました。

以上の結果、売上高は3,239,198千円（前年同期比2.3%増）となり、売上総利益は2,419,333千円（前年同期比0.3%増）、営業利益は37,869千円（前年同期比12.7%減）、経常利益は24,557千円（前年同期比40.4%減）、中間純利益は21,488千円（前年同期純損失3,847千円）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は3,872,244千円となり、前事業年度末と比較して57,085千円減少となりました。これは主に現金及び預金が68,186千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末の負債は3,821,214千円となり、前事業年度と比較して369,317千円減少となりました。これは主に、未払法人税等が31,520千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が312,129千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末の純資産は51,029千円となり、前事業年度末と比較して312,231千円増加となりました。これは資本金及び資本剰余金が第9回新株予約権の行使によりそれぞれ144,503千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、2024年4月12日公表の数値から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,548,743	1,480,557
売掛金	222,635	244,284
商品及び製品	43,588	47,883
原材料及び貯蔵品	10,528	10,357
未収入金	8,549	11,185
前払費用	119,711	120,314
その他	7,616	12,323
流動資産合計	1,961,372	1,926,905
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,366,763	2,355,786
減価償却累計額	△1,357,887	△1,389,826
建物(純額)	1,008,875	965,959
その他	448,158	463,833
減価償却累計額	△344,858	△359,943
その他(純額)	103,300	103,889
有形固定資産合計	1,112,175	1,069,849
無形固定資産	16,330	13,908
投資その他の資産		
敷金及び保証金	785,417	794,113
繰延税金資産	41,106	45,664
その他	12,926	21,803
投資その他の資産合計	839,451	861,581
固定資産合計	1,967,957	1,945,339
資産合計	3,929,330	3,872,244

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,510	238,734
1年内返済予定の長期借入金	654,928	572,560
未払金	113,784	145,751
未払法人税等	68,096	36,575
賞与引当金	16,072	13,699
株主優待引当金	32,739	35,747
資産除去債務	226	294
その他	325,998	269,937
流動負債合計	1,437,357	1,313,300
固定負債		
長期借入金	2,589,806	2,360,045
資産除去債務	37,122	36,892
その他	126,246	110,976
固定負債合計	2,753,174	2,507,914
負債合計	4,190,531	3,821,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,165	515,668
資本剰余金	2,303,720	2,448,223
利益剰余金	△2,963,467	△2,941,978
自己株式	△432	△432
株主資本合計	△289,013	21,481
新株予約権	27,811	29,548
純資産合計	△261,201	51,029
負債純資産合計	3,929,330	3,872,244

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,165,108	3,239,198
売上原価	754,810	819,865
売上総利益	2,410,298	2,419,333
販売費及び一般管理費	2,366,950	2,381,463
営業利益	43,347	37,869
営業外収益		
受取利息	7	127
システム導入負担金収入	7,570	-
受取配当金	0	0
雑収入	2,139	257
営業外収益合計	9,717	386
営業外費用		
支払利息	9,816	12,172
その他	2,078	1,526
営業外費用合計	11,895	13,698
経常利益	41,169	24,557
特別利益		
固定資産売却益	8,447	1,500
資産除去債務戻入益	18,042	-
特別利益合計	26,489	1,500
特別損失		
減損損失	9,302	-
店舗閉鎖損失	53,318	1,074
特別損失合計	62,621	1,074
税引前中間純利益	5,038	24,982
法人税、住民税及び事業税	9,224	8,051
法人税等調整額	△338	△4,557
法人税等合計	8,886	3,493
中間純利益又は中間純損失(△)	△3,847	21,488

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	5,038	24,982
減価償却費	105,748	102,251
減損損失	9,302	-
資産除去債務戻入益	△18,042	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,072	△2,372
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△12,937	3,007
受取利息及び受取配当金	△7	△128
支払利息	9,816	12,172
システム導入負担金収入	△7,570	-
雑収入	△2,139	△257
固定資産売却益	△8,447	△1,500
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,272	△21,648
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,233	△4,124
前払費用の増減額 (△は増加)	13,828	△603
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69	13,223
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	-	△47,196
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82,871	△65,969
未払金の増減額 (△は減少)	5,114	37,205
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,832	10,884
長期前受金の増減額 (△は減少)	△27,212	△14,669
その他	8,297	△2,821
小計	△3,418	42,435
利息及び配当金の受取額	7	108
利息の支払額	△10,882	△12,172
法人税等の支払額	△21,126	△19,553
補償金の受取額	31,912	-
システム導入負担金収入の受取額	7,570	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,062	10,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,382	△48,342
無形固定資産の取得による支出	△12,930	-
敷金及び保証金の回収による収入	116,850	3,380
資産除去債務の履行による支出	△28,650	-
その他	8,447	△10,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,335	△55,538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△361,678	△312,129
新株予約権の行使による株式の発行による収入	143,476	288,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,201	△23,466
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△169,804	△68,186
現金及び現金同等物の期首残高	1,499,154	1,548,743
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,329,350	1,480,557

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

株主資本の著しい変動

新株予約権の行使に伴い、当中間会計期間において資本金が70,890千円、資本剰余金が70,890千円増加し、資本金が163,976千円、資本剰余金が2,096,531千円となっております。

当中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

株主資本の著しい変動

新株予約権の行使に伴い、当中間会計期間において資本金が144,503千円、資本剰余金が144,503千円増加し、資本金が515,668千円、資本剰余金が2,448,223千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、飲食事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(第9回新株予約権の行使による増資)

2024年9月1日から10月11日の間に第9回新株予約権の行使が行われており、当該新株予約権の行使により発行した株式の概要は以下のとおりであります。

- ① 行使新株予約権の個数 550個
- ② 資本金の増加額 27,904千円
- ③ 資本準備金の増加額 27,904千円
- ④ 増加した株式の種類及び株数 普通株式 55,000株

以上の結果、2024年10月11日現在の発行済株式総数は4,281,300株、資本金は543,572千円、資本準備金は1,234,850千円となっております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、COVID-19の感染拡大を受け度重なる営業活動の自粛やアルコール提供の中止、時短営業等を行ってまいりましたが、前事業年度末において債務超過に陥ったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況の存在について認識しております。なお、前事業年度末の資金残高の状況及び今後の資金繰りを検討した結果、当面の事業活動の継続性に懸念はございません。加えて、当該重要事象等を解消するため、不採算店の撤退及び本社の縮小移転等による抜本的なコスト圧縮、資金調達及び資本政策の実施など対策を講じております。

このような状況の中、当事業年度におきましては、「てけてけ」のリモデル店舗及び新業態・新商品の開発、既存業態の店舗QSC向上・管理体制強化によりトップラインの早期回復を図ることで、通期の売上高6,303百万円、純利益75百万円の黒字着地を見込んでおります。なお、当中間会計期間では営業黒字で着地しており、通期においても計画を達成できる見込みと認識しております。

以上のことから、現時点での当社における継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。